

探訪ねる 水と酒造り
伝説の清水がとけ込んだ
松島の美
松島町・七ヶ浜町・鳴瀬町(松島)

特集
みやぎ食育の里づくり

みやぎ

MIYAGI
PREFECTURE
NEWS

2月

毎月1日発行
平成15年2月1日
第395号



発行 宮城県総務部広報課 〒98008570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号 ☎022(21)211(内線2223) URL <http://www.pref.miyagi.jp/kohou/> 印刷 仙台印刷工業団地協同組合

第5回 こども県政だより

いろんなぎもんをナンタロウくんとハテナちゃんが楽しく解決!

図書館の楽しい利用法

「宮城県のふしぎ」っていう本を町の図書館で探したけどなかったんだ。

宮城県図書館の本、町の図書館から借りられるって聞いたことがあるわ。借りてみたら。

ナンタロウくん

ハテナちゃん

スタート
借りたい本を町の図書館に申し込みます

町の図書館は電子メールで宮城県図書館に申し込みます

町の図書館から本を受け取ります

完了!

宮城県図書館は、協力車で本を町の図書館に届けます

1週間くらいで借りることができたよ。読みおわったら、町の図書館に返すんだ。

冬は、こたつで読書したいね。わたしもどんどん本を借りちゃおう。

行ってみよう

住んでいるところの図書館に借りたい本がなくても、その図書館を通じて宮城県図書館から、こどもの本はもちろん大人の本も借りることができます。図書館がない町や村に住んでいても、近くの公民館に申し込みれば、同じように本を借りることができます。くわしい申し込み方法は、近くの図書館や公民館に聞いてみましょう。

また、宮城県図書館のホームページでは、宮城県図書館にある本を調べることができます。

宮城県図書館のホームページ
<http://www.pref.miyagi.jp/library/>

みやぎ

食育の里づくり

子どもたちに地域の生活・食文化を伝える

県では子どもたちに「食」の大切さを伝え、「食」を通じて豊かなみやぎの地域文化を守り、伝えていくために「みやぎ食育の里づくり事業」に取り組んでいます。

平成十四年度は海と川が出会う河口の町北上町でモデル事業を行っています。

「食育」の場を地域で再生する

「飽食の時代」と言われ、お金さえ出せば食べたときに食べたものが食べられる、豊かな時代になりました。しかしその一方で孤食や偏食、食の安全性なども、過剰な時代だからその問題も指摘されるようになっていきました。食の無国籍化や外食化が進み世界中のさまざまな料理や食材を楽しむことができるようになった一方で、「汁三菜」といった日本型の食生活がなじみの薄くなったままになっています。テレビ番組などは食に関する情報が氾濫していますがその情報をきちんと消化できていない状況も生じています。今では学校も家庭も食について教える場は言えなくなっているのではないのでしょうか。

「食」の大切さを子どもたちにもう一度伝えよう

県では「もう一度時代だからこそ」「食」を通じて豊かなみやぎの地域文化を守り、子どもたちに「食」の大切さを伝えていくこと、「みやぎ食育の里づくり事業」に取り組んでいます。「この事業はそれぞれの地域に固有の食文化を守り伝えることのできるさつを見つめ直し、その魅力を再発

見しよう」という試みです。

今年度は海・山・川・田畑と食を育む豊かな自然環境に恵まれ、宮城県縮図ともいえる町・北上町で事業に取り組むこととしました。漁協、農協、食生活改善推進員、小学校の先生などさまざまな方が連携・協力して実行委員会を作り、「食育の里づくり」が始まりました。

北上町は食材の宝庫

事業では、自家生産している食材にはどのようなものがあるか調べることから始めました。その結果、野菜、山菜きのり、

くだもの・木の実、海や川の魚介類・海藻など、なんと三百種類を超える食材が確認されたのです。

地元の女性が、「私は安心して子どもが育てられるところ。お金がなくても楽しく暮らしていける」といって、「もう一度北上町は知らねえの食材の宝庫だ」といってを改めて認識するきっかけになりました。

精進料理をみんなで食べよう

「このことを踏まえ、昨年七月、北上町の子どもたちにもう一度地域の食卓を体験させよう」と、観音講の料理を味わう会が開かれました。「観音講」とは、女性をねぎらうため、年一回、子どもと安産を願う



みんなで作る精進料理は「地域の味」

て開いた行事です。

このイベントは単に伝統料理を再現し、子どもたちに食べてもらうだけでなく、

身近な旬の食材や調理の技、食事の作法と心、さらには地域の食文化の豊かさを子どもたちに伝えていくためのひとつの仕掛けでした。

「いただきます」は誰のため

料理は、地域で受け継がれてきた美しい塗りのお膳や食器を使って出されました。食器の二つは小さく、食べられる分だけを盛るように出来ています。食べ物を無駄にしないよう、たくさん食べたい人はおかわりして食べます。

この事業で食のアドバイザーをお願いした結城登美雄先生による授業も行われ、地域の豊かな食材や精進料理の食べ方を教わりました。また、日本独特の食

事のあいさつ、いただきます、「うちそうさま」が料理を作ってくれた人に対してだけではなく、食を育む農家や漁師、食べ物そのものさらには食を育む水や土や太陽といった自然なすべてに感謝をすることも学びました。



- ① 平…………… たけのこ、こんにゃく、しいたけ
- ② 血…………… 油揚げとこんにゃくのくろみあえ
- ③ 猪口(チヨク)…………… りんごの砂糖がけ
- ④ 汁…………… 大根、にんじん、油揚げ、豆腐、まめふ
- ⑤ 漬物…………… きゅうりの一夜漬
- ⑥ ごはん

助走

「食育の里づくり」

前に、宮城版スローフード運動について書きました。うれしいことに、各地に運動が広がっています。宮崎町の食の文化祭はすっかり定着しました。北上町での食育の里づくりや、唐桑町、白石市小原地区でも、地元の食材を使った料理による地域おこしが進められています。

スローフードは、単にゆっくり食べようというだけではありません。地域でとれた食材を地域で使い切って、それを地域おこしにつなげようという、「地産地消」運動に通じるものです。歴史・伝統・文化と、食材、料理、もてなしといったことは、緊密に結びついていることを感じます。ファーストフードのあの画一性、効率性、即物性とは、はっきりと一線を引くことができます。

先日、そういった活動をしている人たちが集まる会合に出ました。懇談の前に、それぞれが持ち寄った料理を食べる機会が持たれたのは言うまでもありません。印象に残ったのは、自分の地域の食材と料理に誇りを持っていること、そして、単なるビジネスではなくて楽しみながらの事業として進められていることでした。

「食材王国みやぎ」は、安全で安心できる食材が売り場です。質のいい、おいしい食材がある幸運を生かし切る努力に支えられています。加えて、地域おこしと一体となった、みんなが誇れる、楽しい食材利用というも、みやぎの特色になっています。

豊かな食事を楽しむためには、健康な身体がなければなりません。必然的に、健康づくりにもつながります。県内の多くの地域で、元気あふれる食育の里がどんどん生まれていくことを心から望んでいます。

宮城県知事 浅野史郎



いつもとは違った食事に少し緊張がみ

「食」は人と人をつなぐ絆

北上町追波釣石会 佐々木 多美子さん
佐藤 富貴子さん

おじいさん、おばあさんと一緒に住んだり、家族みんなで一緒にごはんを食べることが少なくなると、地域や家庭で「食」を通じて教育することが難しくなっています。子どもたちも、毎日食べられているものが「こころ」のなかで知ることが少なくなっています。

また、私たち大人も、海や山や川は、危険なところ」として、気がないうちに子どもたちを遠ざけてしまっています。

この事業は、地域の大人たちだけで取り組むのではなく、地域の食文化を子どもたちに伝えていくこととしました。

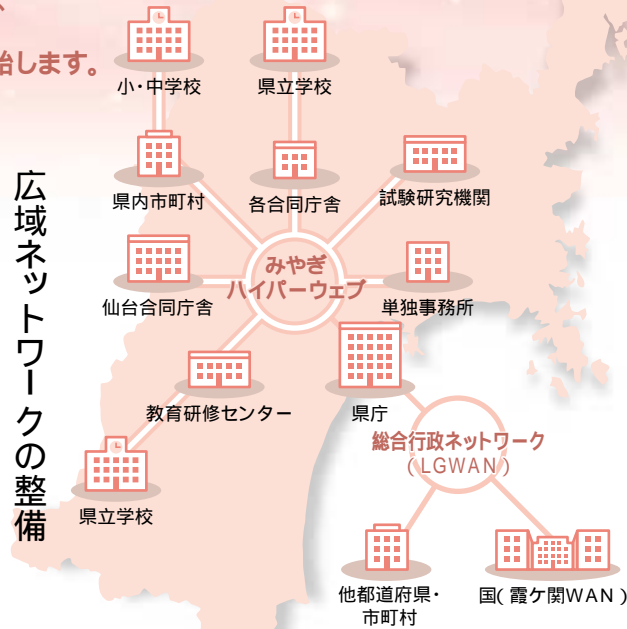
一月には、正月料理を作り、昔ながらの「塩つけ魚のつるし切り」も作ってみました。



釣石会の佐々木さん(左)と佐藤さん(右)の笑顔にどこか自信が

行政機関を結ぶ 高速大容量通信ネットワーク みやぎハイパーウェブ運用開始

暮らしや産業、行政のIT化を進める「みやぎIT戦略」を支えるために、県や市町村、学校を高速大容量の通信ネットワークで結ぶ「みやぎハイパーウェブ」がまもなく完成し、4月から正式に運用を開始します。



広域ネットワークの整備

社会のあらゆる分野でIT化が進む中、行政のIT化も求められています。電子県庁や電子市町村の構築を進めるうえでは県内全域を結ぶ広域的な通信ネットワークが重要になります。

このため、県では県内の公共機関県や市町村等と結ぶ共通の通信ネットワーク「みやぎハイパーウェブ」の整備を進めてきました。これは高速・大容量の光ファイバーを利用したネットワークで、電気通信事業者が提供するサービスを利用して運用しやすく、より経済的に構築しました。

行政事務の効率化と情報教育の推進

みやぎハイパーウェブの中では、国が全国の市区町村と接続を進めている、総合行政



畑の土の中から大きなゴボウを掘り出し大満足



川からとってきたうなぎを焼くのに、みんな興味津々



サケと野菜たっぷりの鍋。うまくてできるかな



自分たちも頑張って集めた食材、教えてもらいながらの調理、そして北上の豊かな自然の恵みに「いただきます」

ふるさとの恵み再発見

十月には北上町の三つの小学校の子どもたちが、海・山・川の三チームに分かれ、食材を生かすさまざまな知恵を持つ地域の高齢者を先生に、食材集めから料理までを体験しました。この様子はテレビ番組を通じて全国に紹介され、町をあげての食育の試みが全国に

向けて情報発信されました。

「山のチーム」で参加した吉浜小学校四年生担任の阿部先生は、「恵まれた自然環境に育ついても子どもたちが畑仕事を手伝う機会はまだありません。今回、体験学習をすることで、皆さんの発見があったと思います」と話しています。

食を育む場所のことを子どもたちと一緒に学ぶ

民俗研究家 結城 登美雄氏

この国では、よい町とは都市にあるものをどれだけ所有しているかを基準にしています。その意味では、北上町は、何もなしの町ということになります。しかし、北上町は、海、山、川、田畑という食材を育むすべてを持っていて、宮城県の縮図のようでもあります。そこで、この土地で、生活の基本である食文化について、子どもたちと一緒に勉強していこうと思いました。

今は食事の場所が、家庭の食卓、外食の食卓だけになってしまいました。家庭の食卓の力が弱まってきている中、地域のみんなで作って、みんなで食べる「地域の食卓」が、子どもたちに食文化を伝える「食育」の場として大切です。これらが集まって広がったときに食育の里づくりができると思います。

北上町の皆さんは、この事業をきっかけに、自分たちが住んでいる町の良さに気づきました。今後は、そのことを子どもたちにしっかりと伝えていってほしいと思います。



子どもたちの表情もイキイキ

「これまで、そしてこれから」

私たちはかけがえのない生活文化を持つていながら、そのことに気づかず、それを受け継ぎ、伝えることをあまりにもないがしろにしてきた。その反省を踏まえ、生活の基本である「食」に関する教育も、あまり重視されることがありませんでした。このため、「この事業では子どもたちに地域の味を伝える大切な食育の場を、地域の食卓」を作ることで実践しました。食文化の担い手として、みなさんの食文化とその調理法や保存法、おいしく食べる工夫などをよく知っている地域の高齢者たちを先生として子どもたちに伝えていこう

しました。二月には、事業の締めくくりとして正月行事を再現しながら、「この一年の成果を振り返り、これからの活動について考えていこう」としています。北上町での取り組みで、豊かな食文化は家庭の中に残っていたというように気づかれました。他の地域でも、「食」の大切さ、豊かな地域文化を、ぜひ子どもたちに伝えていく工夫や試みをしてほしいと思います。

お問い合わせ

生活・文化課
0222(221)2525
<http://www.pref.miyagi.jp/seibun/>

授業での可能性も広がります

高校では、平成十五年度から新しい学習指導要領がスタートし、情報教育が充実していきます。各県立高校では高速・大容量という、みやぎハイパーウェブの利点を生かした授業を取り入れていくことが期待されています。

大河原商業高校では、これまで生徒が主体となって、パソコンの講習会や、仙南地区の学校を対象にしたホームページコンテストなどを行ってきました。また、平成十年に文部省(当時)の指定を受け、光ファイバーを使った学校間ネットワークの活用の方を検討してきました。その中で、県外や海外の高校等とも結んで、テレビ電子会議で意見交換をしながら授業を行ったり、電子商取引の実習などをしてきました。

同校情報システム科の佐々木淳先生は、「今後県内の各校で整備が進んでいけば、ハイパーウェブを使って、より広い範囲でこういった臨場感のある実践的な授業ができる可能性があると思います。また、地元の情報機関や小・中学校ともハイパーウェブで結ばれるので、今まで以上に各分野での情報創造・共有が進むと思います」と今後



岩手県立水沢商業高校とのテレビ電子会議による意見交換

お問い合わせ

情報システム課
0222(221)2475
0222(221)2499
<http://www.pref.miyagi.jp/oho-s/>
Eメール john@pref.miyagi.jp

悪質金融業者に

ご注意ください!

多重債務者や自己破産経験者をターゲットにした 東京都内の悪質金融業者による被害が急増しています

増え続ける相談

最近このような相談が県の貸金業相談電話に寄せられました。

減らない元金に困っています

S.Tさん(町三十代 男性)

郵便受けに入っていた東京の業者のチラシを見て、気軽な気持ちで二万円を借りてしまいました。

業者からは、一週間ごとに利息として一万円を支払うか、完済する場合は三万円を支払うように指示されました。しかし、実際に振り込まれたのは、手数料を差し引いたという一万五千円でした。利息としてこれまで六万円を支払っていますが、元金は一円も減っていないので終わりが見えません。

一日でも返済が遅れると、時間に関係なく、自宅、職場、子どもが学校にまで脅しのような取り立ての電話がかかってきます。これ以上は支払うこともできず、どうしたらいいのか分からず困っています。

今年度、県に寄せられた貸金業についての相談件数は、十一月現在で二千五百九十九件となり、前年度十一月現在と比較して約一・五四倍も増えています。中でも、厳しい取り立てや法外な金利をかけられたことに関する相談が特に多くなっています。

悪質化する金融業者

「他店で断られた方でもOK」「無担保・低金利で八百万まで即融資」などと書かれた新聞の折り込みチラシや雑誌の広告などをよく目にします。また、電柱などに携帯電話番号を載せたいわゆる「090金融」の張り紙広告が街中にあふれています。

最近これらの宣伝を見て融資を申し込んでも、広告とおりには融資してもらえずに元金の五・七割もの高金利の支払いを要求されたり、多額の手料をだまし取られるといった被害が急増しています。また、契約していないにもかかわらず、勝手に口座に振り込まれ、利息を含めた返済を強要された例もあります。

このような悪質業者から借り入れ、返済が遅れたり、相手の要求を断ったりすると、自宅、親戚、勤務先などに、時間に関係なく電話などで執拗な取り立てが繰り返される被害が出ています。



被害に遭わないためには

業者は慎重に選びましょう

無登録の貸金業は法律で禁止されています。貸金業者は広告等に登録番号(県登録業者の例:宮城県知事A-1第04567号)を表示することが義務付けられています。

契約の前

契約内容に納得してから、署名捺印を。また、契約書は必ず業者から受け取りましょう。

返済するときは

返済のために受領書を受け取り、保管しましょう。返済が終わったら、借用証書を返還してもらいましょう。

返済に困った時は早めに相談を

主な相談窓口

県貸金業利用相談電話

022(2661)1810

(社)宮城県貸金業協会

022(2222)6545

お問い合わせ

宮城県登録業者の場合

貸金金融課 022(211)2743

http://www.pref.miyagi.jp/keikin/

国登録業者登録番号例:東北財務

局長(1)第12345号の場合

東北財務局金融監督第一課

022(2663)1111

http://www.mof-tohoku.go.jp/

トピックス①

Let's アクセス 「みやぎNPO 情報ネット」

お問い合わせ
みやぎNPOプラザ
022(256)0505
http://www.miyagi-npo.gr.jp/

県では地域においてさまざまな分野で活動しているNPOや民間非営利団体など、その活動を支援しているボランティアの情報を提供するため、「ホームページ」みやぎNPO情報ネットを開設しています。

「NPOで活動してみたい」「ボランティア活動をしたけれど、その情報を手に入れたらいいかな」「ボランティア活動してみたい」と思っている方はぜひ一度この「みやぎNPO情報ネット」にアクセスしてはいかがでしょうか。



ホームページアドレス <http://www.miyagi-npo.gr.jp/>

主なコンテンツ
NPO検索システム 各団体の事業・イベント等の紹介
会員・ボランティア募集 助成金情報
NPOプラザの紹介
NPOに関する質問をまとめた「Q&A」

トピックス②

ユニークな メニューが 勢揃い

お問い合わせ
農産園芸課
022(211)2843
http://www.pref.miyagi.jp/nosan-engei/

学校給食に地域の食材の利用を進め、子どもたちの「食」への関心を高めるため、県内の小学生を対象に「こんな給食が食べたい」地元食材を使った「給食メニュー大募集」を実施しました。

これには四百八十五名の応募があり、次のメニューが優秀作品として表彰されました。

最優秀賞

「北中山小学校創立十周年記念スペシャルメニュー」
果ヶ岳おにぎり、1010(じゅうじゅう)ハンバーグ、10(じゅう)みそスープ

仙台市立北中山小学校三年 西浦 創君



1010(じゅうじゅう)ハンバーグ

優秀賞

『みんな元気』や『さいたまごひ』
『や』や『思ひが盛りだくさん』や『や』
『小さな秋ひけた』
『みぎのあきまのじいちゃん』
『みぎのあきまのじいちゃん』

宮城県立東陽台小学校一年 豊川真唯君

議から 県会

十一月定例会のあらまし

十一月定例会は十一月十五日から二十日までの二十六日間の会期で開催され、十月に東北地方を横断した台風二十一号の被害対策、輸入生かき偽造防止特別監視員調査事業費、牛海綿状脳症対策特別措置法施行に伴う検査体制の整備など約三十一億円の一般会計補正予算を含む五件の予算議案を可決しました。

また、予算外議案は、核燃料税条例、自主的な市町村合併を推進するため、町となるべき普通地方公共団体の要件に関する条例の一部を改正する条例(二十七件の条例案)、平成十三年度宮城県一般会計決算及び各特別会計決算の認定について、など十二件の条例外議案の計三十四件の議案が知事提案され、三十二件が原案のとおり可決、承認、同意し、二件が継続審査となりました。

また、平成十三年度の歳入歳出決算について、決算特別委員会を設置し審議を行い、歳入歳出額約一兆千八百四十四億、歳出決算額約一兆八百四十五億を承認しました。

◆一般質問、決算特別委員会総括質疑

五日間にわたり延べ二十五人の議員が質問に立ち、食の安全安心対策や地方分権の推進、教育問題、農業問題などについて活発な質疑を交わしました。

◆意見書・発議

議員提案による、北朝鮮による日本人拉致事件の徹底解決と早期解決を求める意見書「ほか五件を可決したほか、平野、故高田宮憲仁親王殿下への哀悼」、「県議会議員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例」発議を可決しました。

◆請願

「宮城県保健医療福祉中核施設の整備促進に関する条例」の改正、「私立高等学校等の助成強化に関する条例」の改正、「私学助成増額」の三件の請願を採択しました。

県議会事務局政務調査課 022(211)2502
http://www.pref.miyagi.jp/kengikai/
E-mail: gtyosaa@pref.miyagi.jp

伝説の清水がとけ込んだ 松島の美

青い海、緑の松、白い岩肌の島々、そしてカキ棚群が織り成す「静の美 松島」。さてこの風景の源流はどこにあるのでしょうか。探し訪ねてみると、それは瑞巖寺周辺にありました。

かつての松島は清浄な水を得にくい土地でした。そこで瑞巖寺の開祖慈覚大師が独鈷杵や錫杖を突いて清水を掘り当てたとか。それが「独鈷水」や「清水の奥」です。

以来千数百年。それらの水は松島湾に流れ込み、人々に恵みをもたらしてきたのです。近年、湾内の水質はさすがに昔のままとは言えませんが、海に暮らす人々は海底の浄化や水質の管理を強く続けながら、この恵み多き海を守ってきたのです。この青い海にこそ、ほんとうの松島の奥深さが秘められているのかもしれない。



松島へは、JR仙石線松島海岸駅かJR東北本線松島駅下車
多聞山へは、JR仙石線本塩釜駅下車、海岸通りバス停より宮城交通バスで仙台火力前下車

独鈷杵…密教で使用する法具で金剛杵の一種
錫杖…僧侶や修験者が持つ杖

- 1 松島四大観の「一」 偉観「多聞山七ヶ浜町からの展望」
松島を訪れる観光客のほとんどは瑞巖寺や五大堂の見学、あるいは遊覧船での観光にたまりこんでいる。しかし、松島の魅力は、壮観「大高森・鳴瀬町」の「偉観」「富山松島町」の「幽観」「扇谷松島町」の「偉観」「多聞山七ヶ浜町」の「松島四大観」と称される展望に凝縮されている。
- 2 瑞巖寺と独鈷水
伊達政宗の正室愛姫の墓所として知られる瑞巖院に、独鈷水がある。かつては、その奥の「〇」メートルの井戸跡が独鈷水と呼ばれていた。また、その瑞巖寺の西方300メートルの山間に今も湧きだす「清水の奥」や「湯の原温泉」の源泉もまた、独鈷水と呼ばれていた。これも慈覚大師の発見だといわれる。瑞巖寺宝物館学芸員 堀野宗俊氏談
- 3 白紙不動の水
松島湾に流れ込む高城川の流域にあって、古くから高城地区の水くみ場として利用されていた井戸水。清水期でもこの水は濁れないといわれる。
- 4 今も尚、松島湾の恵み「カキ」
カキの成育には、波静かな広い湾と適度な潮の流れ、水温、そして養分を運ぶ真水（川）が必要である。松島湾内のカキ養殖は、現在、松島町や鳴瀬町、七ヶ浜町などで行われているが、カキの品質保持のため湾外に養殖棚を移動し、紫外線殺菌した海水に長時間漬けてから出荷するほどの養殖家も、これほどまでして育ったカキは、殻は小さいが身は大きくて弾力があり、噛むほどに旨みがある。



広がるリサイクルの輪



作業に励む只野会長(中央)と会員の皆さん

資源循環型社会の構築を目指し、古川市民により発案された創意工夫の場である、古川市リサイクルデザイン工房が今年で六年目を迎えます。工房では、会員が建築廃材から茶たぐや「コスター」、使用されなくなった布から裂き織りやひちひちクなど衣類やバッグなどの生活に役立つ製品を作り、再利用を進めています。

会長のみやぎさんは、不用とされる材料を利用するところに、この工房の特徴があります。一見不用に見える物でも視点を変え、少し手を加えれば、再利用できるものがたくさんあります。また、研修を受け、その後、自分で廃材を利用して作品作りを続けるものがある方もいます。また、研修を受け、その後、自分で廃材を利用して作品作りを続けるものがある方もいます。また、研修を受け、その後、自分で廃材を利用して作品作りを続けるものがある方もいます。



会員の皆さんによる作品

古川市リサイクルデザイン工房
古川市川端一十五
☎0229(24)5275

東・西・南北



人と人を結ぶ新しい力 登米地域 座・ハイカラの地域通貨

登米地域で、「座・ハイカラ」という団体が「ポトク」という地域通貨を流通させています。

地域通貨とは、地域を限定して使うことができる擬似的な貨幣のことです。参加者がお互いにルールを決め、それぞれの得意分野でサービス交換する仕組みのことです。住民同士の支え合いの新しい仕組みとして、最近注目を集めています。

「座・ハイカラ」が県の支援を受けながら地域通貨の流通を開始したのが平成十三年十一月。現在の会員は四十数名です。会員が「ポトク」を手伝って欲しいと、「ポトク」を欲しいと、それぞれ登録し、通帳を使ってサービス交換します。



昨年10月に行われた東和町の蚕飼山での清掃登山

これまでこの活動を通じて、代表の鈴木さん



座・ハイカラ代表 鈴木さん

は、「地元の自然や人材といった『宝』を見つかるようになっていく。仕事や世帯を超えた対等な結びつきを感じることができると成果を話してくれました。その一方で、まだまだ地域通貨の考え方を理解してもらえないことが多いです。自分の住む地域が豊かにならなければ、その中の個人が豊かに暮らしてゆくのには難しいと思います。

また、「もつと県内で地域通貨が認知され、流通させる団体が数多く出てきて欲しい。『ポトク』とならば手伝いたい」と県内での地域通貨の普及にも意欲を覗かせていました。



山南地域



山南の児童劇団 A.Z9ジュニア・アクターズ 第10回公演

山南圏域の子どもたちでつくる児童劇団A.Z9ジュニア・アクターズの第10回公演が、2月22日(土)・23日(日)の2日間、大河原町のえぞホールで行われます。今年、「本の中の静かな海」と題し、本の中に住む「紙魚」という想像上の生き物と、彼らが住む書齋の主との交流が展開されます。子どもたちの情熱あふれる演技をぜひご覧下さい。両日とも開演時間は午後2時で、料金は大人1,000円・中学生以下600円(当日それぞれ200円増し)です。

山南地域広域行政事務組合企画調整課 ☎0224 52 1320
えぞホール ☎0224 52 3004

利府町



表松島「利府の海」で「浜まつり」開催

国道45号から、利府町に入ると「利府の海」が見えてきます。塩竈や松島から出港する観光遊覧船で紹介される「兜島」や「鑑島」などは、利府町の島であることを知らない方が多いのではないのでしょうか。「表松島」ともよばれる利府町の海で、3月2日(日)に「浜まつり」が開催されます。会場は、JR陸前浜田駅前の浜田漁港広場です。かき・わかめなどの水産物直売コーナーが設けられるほか、かき雑炊無料配布、あさり拾い大会など、新鮮な旬の海の幸が所狭くと並べられ、その場で味わうこともできます。

この機会に「利府の海」を訪れてみてはいかがでしょうか？
利府町地域整備課 ☎022 767 2120
http://www.town.rifu.miyagi.jp

鹿島台町



第12回 鹿島台みちのく温泉まつり

2月15日(土)・16日(日)に国民年金健康保養センター「みちのく路」で「第12回鹿島台みちのく温泉まつり」が開催されます。祭りでは、千拓前の品井沼に生息していた菱を取る時に歌われた「菱取り唄」をテーマに民謡大会が開催されます。また、「フォトコンテスト」も同時に開催され、町内の四季折々の風景を題材とした写真が多数展示されます。

16日(日)には温泉が無料開放されますので、鹿島台の風情あふれるこのイベントに足を運んでみてはいかがでしょうか？
鹿島台町産業振興課 ☎0229 56 5520

一迫町 若柳町



厳寒のくりはらに水しぶき!

2月3日節分の夜、一迫町で「春を呼び裸たるみこし」が行われます。厳寒の町をさらしの下帯、白足袋姿の若者たちが、みこしを担いで真坂商店街を練り歩き、五穀豊穡、無病息災などを祈願します。沿道からの清めの水に、威勢のいい掛け声が響きます。女性には、はっぴ姿でみこしに登ると良縁や子宝に恵まれると評判とか。また、若柳町では、3月9日に「石尊さまの裸まつり」が行われます。550年ほど前から町館地区に伝わり、火伏せと厄払いを祈願するお祭り、下帯一本の男たちが家々の屋根に勢よく水をかけて廻ります。石尊神社では、鹿踊り、神楽の奉納なども行われます。

一迫町生涯学習課 ☎0228 52 3141
若柳町企画商工課 ☎0228 32 2121

石越町



みんなで作る感動の郡民劇場 夢フェスタ水の里

登米地域の住民が力を合わせて作り上げる演劇「夢フェスタ水の里」は今年で5回目を迎えます。今回の舞台は明治時代の東北本線石越駅周辺です。第一部では、石越村に蒸気機関車が通ることになったときの、住民や村長のやりとりがおもしろおかしく描かれます。第二部では、石越駅前に現存する旅館をモデルに、実話に基づいたストーリーが展開されます。毎年、出演者からスタッフまで住民の手作りで感動を呼んでいるこの舞台の世界を、体験してみませんか。

登米祝祭劇場 ☎0220 22 0111
http://www.tome-syukusai.or.jp/

牡鹿町



牡鹿町の味をインターネットで

昨年11月から牡鹿町の特産品が、牡鹿町水産公社のホームページ上で販売されています。現在、カキ、鯨、アワビ、アナゴなど24品目が取り扱われています。商品はすべて、公社が定めた認証基準に合格し、推奨品として認定されたもので、「推奨品ステッカー」を貼って、届けられます。商品パンフレットも用意していて、電話での問い合わせや注文もできるようになっています。

牡鹿町水産公社 ☎0225 44 1655
http://www.suisankosha.org/

気仙沼市 本吉地域



北みやぎ・南いわて「広域交流観光物産展」

2月7日(金)～9日(日)の3日間、JR仙台駅2階コンコースにおいて、「北みやぎ・南いわて広域交流観光物産展」が開かれます。この物産展は、宮城県北・岩手県南の県際地域(愛称:みやて圏)の県境を越えた観光・物産情報の発信や、両県の交流を深めることを目的に開催するものです。物産展では、北みやぎ・南いわてのさまざまな物産の販売や観光情報紹介のほか、クイズ大会や郷土芸能などのアトラクションも行われる予定です。皆様のお越しをお待ちしております。

日時/2月7日(金)～9日(日) 10:00～20:00(9日は18:00まで)
場所/JR仙台駅2階コンコース
気仙沼地方振興センター ☎0226 24 2593
http://www.pref.miyagi.jp/ks-tihouken/miyate/

障害者雇用促進企業登録申請

県では、物品・役務の調達に当たり「障害者雇用促進企業」から優先して調達する制度を実施しています。申請用紙は、県出納局管理課で随時配布しているほか、同課のホームページからダウンロードもできます。登録日 = 4月1日(有効期間1年) 受付期間 = 2月17日(月)~28日(金) 対象業者 = 物品調達に係る競争入札参加業者に登録した業者 受付場所 = 県出納局管理課
■ 県出納局管理課
 ☎022(211)3333
<http://www.pref.miyagi.jp/sui-kanri/>

森林インストラクター養成講座受講者募集

森林を利用した野外活動の指導や、森林・林業の普及活動をボランティアで行っていただく森林インストラクターを養成します。募集人員 = 50人程度 受講資格 = 県内に住む20歳~65歳の健康な方で、森林ボランティア活動に参加できる方 受講期間 = 4月~平成16年3月の土曜・日曜日(約20日間) 申し込み = 申込申請書に小論文を添えて、2月28日(金)までに提出してください 申請資料請求方法 = はがきに住所、氏名、電話番号および「養成講座募集案内資料請求」と明記し、県自然保護課(〒980-8570 住所不要)へ
■ 県自然保護課
 ☎022(211)2676

出前講座「みなさんあのね...」開催中

県職員が皆さんの集会・会合に出向いて、メニューに基づき、県政についてご説明します。開催日時 = 午前10時~午後9時(土曜・日曜日、祝日も開催します) 費用 = 料金はかかりませんが、会場は申込団体で準備してください(申し込みができるのは20人以上の団体・グループです) 主なメニュー = 市町村合併、地震の再来への備え、食の安全、地震に強い建築物、総合型地域スポーツクラブについて、議会の仕組みと役割など40メニュー
■ 県広報課

☎022(211)2285
<http://www.pref.miyagi.jp/ohou/kouchou/demae.htm>

平成15年度前期科目等履修生募集

宮城大学では、県民の皆さんを対象に、選考の上、開講している授業科目を履修できる科目等履修生を募集します。対象科目 = 4月開講の前期科目 募集期間 = 2月10日(月)~14日(金)
■ 宮城大学事務局教務班
 ☎022(377)8212
<http://www.myu.ac.jp/>



「北方領土の日」宮城県松島集会開催

わが国固有の領土である北方四島(歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島)返還の実現は、長年にわたる国民の願いです。政府は、2月7日を「北方領土の日」と定め、この問題の正しい理解を広めることに努めています。日時 = 2月7日(金)午後1時30分~ 場所 = 松島町中央公民館
■ 北方領土返還要求宮城県民会議(県広報課内)
 ☎022(211)2285

県立高等技術専門学校「訓練展」開催

日時・場所 = ①2月22日(出)午前10時~...石巻高等技術専門学校 ②3月1日(出)午前10時~...仙台高等技術専門学校(テクノフェスタ2003の名称で開催) 内容 = 各訓練科の学生の作品展示・販売、ふれあい体験、実習室の公開など
■ 石巻高等技術専門学校
 ☎0225(22)1719
■ 仙台高等技術専門学校
 ☎022(258)1151

環境マネジメントシステム普及セミナー開催

環境に関する国際規格「ISO14001」などについてご紹介するセミナーを開催します。また、取得や運用についての個別相談コーナーも設置します。対象 = 民間事業者

日時 = 3月4日(火)午後1時~午後4時30分 場所 = 県庁2階講堂 参加費 = 無料 申し込み = 2月25日(火)までに県環境政策課 ☎022(211)2663へ

「おいしいみやぎの逸品見本市」開催

みやぎの一次産品や加工品などの食材や食料品を一同に集めた商取引のための見本市を開催します。卸業、スーパー、百貨店、飲食店、中食関係者の方々のご来場をお待ちしています。期日 = 2月13日(休)午前10時~午後4時 場所 = 夢メッセみやぎ
■ 県産業人材育成課
 ☎022(211)2764



生涯学習相談

内容 = 講座、イベント、学習グ

ループ、施設、講師、資格等の情報提供および相談 日時 = 図書館開館日の午前10時~正午、午後0時45分~午後4時 場所 = 県図書館生涯学習室
■ 県図書館生涯学習室
 ☎022(377)8641

気仙沼・石巻地区身体拘束移動相談

日時 = 2月13日(休)午前10時~午後0時30分 場所 = 気仙沼合同庁舎4階大会議室(気仙沼市朝日町1-1) 対象 = 介護保険利用者(家族)および介護保険施設職員等 内容 = ①身体拘束廃止取組状況・困難事例等の情報交換 ②身体拘束廃止に関する相談 移動相談のほか窓口相談も実施しています。下記の電話番号にて随時受付中です。
■ 宮城県敬風園
 ☎0229(56)9605

障害児(者)の相談はこちらへ!

県では障害児(者)とその家族が安心して豊かな生活が送れ

るようさまざまな相談にお答えしています。

【連絡先】
■ 第二高松園(唐桑町)
 ☎0226(32)3055
 石巻地域障害児(者)支援センター「kai」(石巻市)
 ☎0225(93)2924
 啓佑学園(仙台市)
 ☎022(379)5001
 地域生活援助センター「ポレポレ」(白石市)
 ☎0224(26)1152
 ほっとさわべ(金成町)
 ☎0228(42)3432
 大崎地域障害児(者)生活支援センターさてら(古川市)
 ☎0229(21)8832
 恵泉会地域生活支援センター(迫町)
 ☎0220(21)1011

母子・父子家庭等法律相談

弁護士が相談に応じます。事前に予約の必要があります。期日 = 毎月第3木曜日の午前10時~午後3時 費用 = 無料 場所 = 県母子福祉センター
■ 県母子福祉センター

☎022(295)0013 (休館日:火曜・土曜日)

高齢者「なんでも相談」

どんなことでもお気軽にご相談ください。(秘密厳守・無料)

内容	時間	曜日
なんでも相談	午前9時~午後5時	月~金
	午後5時~午後9時	第4木
専門法律相談	午後1時30分~午後3時30分	毎週金
	午後3時30分~午後5時30分	第3水
税金相談	午後1時30分~午後3時30分	第2火
	午後3時30分~午後5時30分	第1木

専門相談は予約制です。
■ 県高齢者総合相談センター
 ☎022(219)1165

中小企業「経営の出前相談」

「新たな事業に取り組みたい」「経営の課題を整理したい」など、中小企業の経営基盤を強化

県の施設の催しガイド
カルチャークラブ
 美術館、東北歴史博物館の小・中学生、高校生の常設展覧料は無料です。

宮城県図書館 ☎022(377)8441

宮城県文化財指定特別展
 内容 県有形文化財に指定された鳥類図譜、魚類図譜、観世流謡本ほか、国指定重要文化財「坤輿万国全図」(彩色写本)等を展示します
 期間 2月11日(火)~3月28日(金)午前9時30分~午後5時
 場所 宮城県図書館展示室(2階)
 観覧料 無料
 【今月の休館日】
 月曜日(3日、10日、17日、24日)
 特別整理期間(1日出~9日)

宮城県美術館 ☎022(221)2111

特別展 「アートみやぎ 2003」
 期間 3月23日(日)まで
 特別観覧料 一般800円、大学・高校生400円、小・中学生300円
 【今月の休館日】
 月曜日(3日、10日、17日、24日)

東北歴史博物館 ☎022(368)0101

写真パネル展 「宮城県の近代化遺産」
 県内に遺る近代化遺産をご紹介します。(常設展覧券でご覧になれます)
 日時 1月28日(火)~3月2日(日)
 展示解説 2月2日(日)、23日(日)午前11時~午前11時30分
 【今月の休館日】
 月曜日(3日、10日、17日、24日)

県民ロビーコンサート **■** 県生活・文化課 ☎022(211)2527

日時 2月26日(水)午後0時15分~45分
 場所 県庁1階県民ロビー
 出演 フレズ・ドリーム
 曲目 黒いオルフェ、あねこもさ、コンドルは飛んでいく、他

するためのお手伝いをします。また、必要に応じて専門家の派遣や窓口の紹介、経営に役立つ情報の提供も行っています。お気軽にご相談ください。

■ 県経営金融課
 ☎022(211)2741

労働相談

労働相談を随時受け付けています。特に専門的な内容は弁護士の無料相談やあっせんも行います(予約制)。場所 = 仙台市内
 日時 = 2月7日(金)、14日(金)、21日(金)午後1時15分~ 申し込み・お問い合わせ = 県労政・雇用対策課 ☎022(211)2771、Eメールrouko@pref.miyagi.jpへ

バリアフリー住宅改造訪問相談

高齢者や障害者の方が、住みなれた家で安心して自立した生活が送れるように、現地に建築士を派遣し、既存住宅の床段差の解消や手すりの設置などバリアフリー改造に関して、無料で相談に応じます。

対象 = 県内(仙台市を除く)在住の高齢者等またはその家族
■ 県住宅課
 ☎022(211)3256
■ (社)宮城県建築士会
 ☎022(262)2867
 仙台市在住者は各区役所の障害高齢課へお問合せください。

すこやか子育てテレホン相談

発育、しつけ、生活習慣などの子育てに関する相談に応じます。日時 = 祝日を除く毎週月曜~金曜日午前10時30分~午後4時
■ ダイヤル相談室
 ☎022(211)0451
 FAX022(227)9148 (FAXは24時間受け付け)

平成15年1月号の9ページ県政ニュース「みやぎを全国にPR第3期みやぎ夢大使」の記事の中に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
 小野寺 正さんの職業 (誤) 塾KDDI代表取締役会長 (正) KDDI 代表取締役社長

2月 県政 テレビ・ラジオガイド

テレビ

仙台放送
情報マガジンみやぎ
 第3土曜日(毎月) 午後1時~1時25分
 行政情報、県内各地の話題など県民の皆さんが知りたい情報を満載した、みやぎの今を伝える情報誌感覚の番組です。(文字スーパー付き)
 みやぎ食べ物語「仙台駄菓子」特集知っ得みやぎ「悪質金融業者にご注意!」新世紀な人「大河原商業高校コンピューター部」
東日本放送
みやぎ情報クリップ
 毎週金曜日 午後7時54分~7時57分
 さまざまな行政情報をお伝えします。(文字スーパー付き)
 見てね
 みやぎ情報クリップキャラクター クリッパー

ラジオ

TBCラジオ
県からのお知らせ
 毎週金曜日 午後3時59分~4時
コミュニティFM
 ラジオ3 グッドライフみやぎ
 毎週月~金曜日 午後5時20分~5時24分
 FMじょんぼ ハビネスみやぎ
 毎週月~金曜日 午後5時15分~5時19分
 FMいずみ みやぎ情報アラカルト
 毎週月~金曜日 午後5時15分~5時19分
 ほほえみ みやぎ情報ピックアップ
 毎週月~金曜日 午後5時50分~5時54分
 BAY WAVE みやぎニュースウィンド
 毎週月~金曜日 午後5時50分~5時54分
 ラジオ石巻 ライフネットみやぎ
 毎週月~金曜日 午後5時20分~5時24分

TBCラジオ

ラジオ県民だより
 毎週土曜日 午前10時25分~10時30分

Date FM

アラウンド ザ ミヤギ
 毎週月~金曜日 午前10時35分~10時39分

